

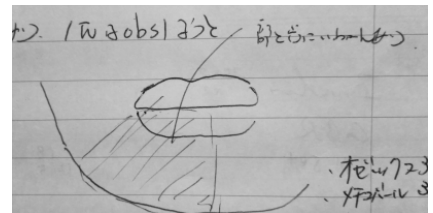
舌側パーフォレーション／オトガイ神経麻痺

米澤 大地

米澤歯科醫院



補綴主導のインプラント埋入手術を計画するにあたって、下顎臼歯部へのインプラントの埋入角度は時に頬側方向へ傾く必要がある。外科優先であれば舌側方向へ傾斜させる埋入となるが、対合歯を考えると補綴物の清掃性を犠牲にしたり、スクリューホール位置などに問題が起こるからである。と講釈したいところだが、その方法は一歩間違えると舌側にドリルが穿孔する。それは時に死亡事故につながる大問題となる。本邦でも死亡事故が報告されており、自身のトラブル症例とともに、その問題も検証してみたいと思う。



また、GBRの減張時にオトガイ神経に麻痺を起こしたり、ドリリング時に下歯槽神経を損傷する事故も最も避けたい事故の一つである。何が原因であったかを検証するとともに、現在推奨される対応方法を考察する。私のようなGPがインプラント関連手術を行うにあたって様々な経験を重ねるが、できれば避けたい一生起こさずに終わりたいトラブルもある。SAFEではその体験を共有することに意義があり、今回発表させていただく。

略 歴

1996年 長崎大学 歯学部 卒業
2000年 米澤歯科醫院 開院(西宮市)

現在の役職及び所属学会 等

- ・長崎大学 歯学部 口腔インプラント学科 臨床准教授
- ・長崎大学 歯学部 歯科矯正学科 非常勤講師
- ・日本臨床歯周病学会 理事
- ・大阪 SJCD 副会長
- ・G.P.O 主宰
- ・EAO 会員
- ・AO 会員

memo